

セキュリティコンサル

年収の全真実

400万～1,500万円超の格差を解剖

スキル・資格・所属先で変わる報酬戦略



年収の相場が知りたいでしゅ

戦略次第で1,000万超えるぞ





セキュリティプロ・フリーランス

登録・利用 完全無料



最高月収150万円

月額80万円以上の案件が

80%以上を占める高単価



リモート率80%以上

フルリモート対応可能案件多数

自由な働き方を実現



専門特化サポート

セキュリティ領域に精通した

専任エージェントが伴走



フリーランス案件マッチング

- ✓ 高単価案件から長期安定稼働の案件まで多数保有
- ✓ 脆弱性診断、SOC構築、ゼロトラスト導入など幅広い専門案件
- ✓ 面倒な営業活動・単価交渉・契約手続きは全て代行



キャリアサポート

- ✓ 業界に精通したエージェントがあなたの市場価値を最大化
- ✓ 独立支援（会社員から個人事業主、法人設立までサポート）
- ✓ 定期的な技術情報共有会、起業支援パックの提供



支払サイト

月末締め翌月払い (30日サイト)



案件参画スピード

2週間～1カ月程度

詳細を見る →

● 平均年収と年収レンジの全体像



平均年収の目安

約 700 万～ 844 万円（各エージェント集計）



年収レンジの幅

400 万～ 1,500 万円超と非常に広い



年収差が生まれる本質

経験・所属先・専門領域の掛け合わせで決まる

● IT 職種別の年収比較

セキュリティコンサル

平均 700 万～ 844 万円

- ・ IT コンサル全体より +100 万超
- ・ 専門性・希少性がそのまま反映

VS

他の IT 職種

平均 497 万～ 685 万円

- ・ IT コンサル全体：約 685 万円
- ・ インフラエンジニア：約 497 万円



差のポイント

コンサル転身で +150 ～ 200 万円が見込める

● 年代別の年収推移

1

20代～30代前半

500万～800万円。基盤スキル習得期。登録セキスペ取得で800万台も視野

2

30代後半～40代

800万～1,200万円。マネジメント経験の有無で年収差が明確に広がる

3

40代後半～50代

1,200万円超が現実的。CISO就任やパートナー職で3,000万円超も

今の自分の位置を確かめろ



● 年収を左右する 5 つの要因

1

保有資格

CISSP 取得で +100 ~ 200 万円。登録セキスペで +50 ~ 100 万円の年収効果

2

専門領域

クラウド・OT・AI セキュリティは需給逼迫で +100 ~ 300 万円の上振れ

3

所属先の種類

Big4 コンサルから中堅 Sler まで、同スキルでも年収が倍以上変わる

4

経験とマネジメント

7 年目前後でマネジメント有無が +100 ~ 200 万円の年収差を生み出す

5

英語力

TOEIC860 点以上でグローバル PJ リード可能。年収 +200 ~ 300 万円

● 仕事内容と1日の流れ

主な仕事内容



診断・ペネトレーション

脆弱性特定・リスク分析・報告書で優先度を可視化



提案・ポリシー策定

対策ロードマップと規程整備を経営層に提言

1日の流れ（例）



午前：調査・報告書作成

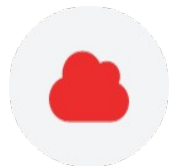
脅威情報収集・診断結果分析・レポート執筆



午後：顧客 MTG・提案

クライアント説明・次フェーズの計画立案

● 高年収を狙える専門領域



クラウドセキュリティ

AWS/Azure/GCP 設計人材が圧倒的に不足



OT セキュリティ

製造業 DX で工場・制御系の需要が急増



AI セキュリティ

生成 AI リスク評価は専門家がほぼ皆無

需給逼迫領域では同スキルでも年収が 100 ~ 300 万円上振れする傾向

● 所属先別の年収と特徴

高年収ルート



Big4 コンサルファーム

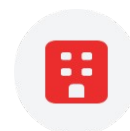
600 万～ 3,000 万円超。昇進で最大の伸び



専門セキュリティファーム

500 万～ 1,500 万円。技術特化の環境

安定・自由ルート



事業会社（CSIRT）

450 万～ 1,200 万円。安定継続、CISO 就任なら大幅増



フリーランス

月 60 万～ 250 万円。稼働・案件自由、青天井も狙える

● 年収 1,000 万超のキャリアパス



コンサルファーム昇進

マネージャー昇進（5～8年目）で1,200万～1,800万円



CISO 就任

大手企業で1,300万～2,300万円。コンサル経験が高評価



フリーランス独立

シニア月130万～200万超。指名される実績が前提



3ルートに共通する鍵は「希少な専門性」と「積み上げた実績」

● 求められるスキルセット



技術力（土台）

脆弱性診断・ログ分析・クラウド設計の実務力



コミュニケーション力

経営層へのリスク説明・折衝力の高さ



年収差を生む本質

ビジネス視点を加えると年収 +200 ~ 300 万円差が出る

● 資格ロードマップ



中級：登録セキスペ

合格率約 20%。取得で年収 +50 ~ 100 万円の効果



上級：CISSP

実務 5 年以上が受験要件。 +100 ~ 200 万円の効果



取得の優先順位

まず登録セキスペ → 実務 5 年超で CISSP が王道

● 将来性と AI 時代の展望



市場成長率

年平均 13.5% で拡大。ランサムウェア被害は高水準継続



AI との共存

定型処理は AI が担い、判断・説明は人間の専門性が必須



キャリアの結論

AI 活用 + 希少専門領域でコンサルの市場価値は上がる一方



● まとめ | 年収最大化の3つのアクション



平均 700 万～ 844 万円だが専門領域・資格・所属先の選択で 1,000 万超は十分現実的



クラウド・OT・AIセキュリティなど需給逼迫領域にポジションを取ることが最速の近道



登録セキスペ → CISSP の資格取得と実績の積み上げで市場価値を可視化する

NEXT ACTION

まずは市場価値の無料相談・登録

[セキュリティプロ・フリーランス >](#)

